

計算書サンプル B(抜粋)

- ・補強計画
- ・必要耐力計算方法:精算法
- ・配置低減計算方法:偏心率法

# 一般診断法(方法1)による診断計算

物件名 福井太郎邸 耐震補強計画

補強計画の診断で、不明壁が残っている場合に、  
物件名の下に下記メッセージが表示されます。  
「※不明壁が残っているので、この計算は不適切です。」  
仕様を特定したうえで補強計画をして下さい。

2013年09月06日

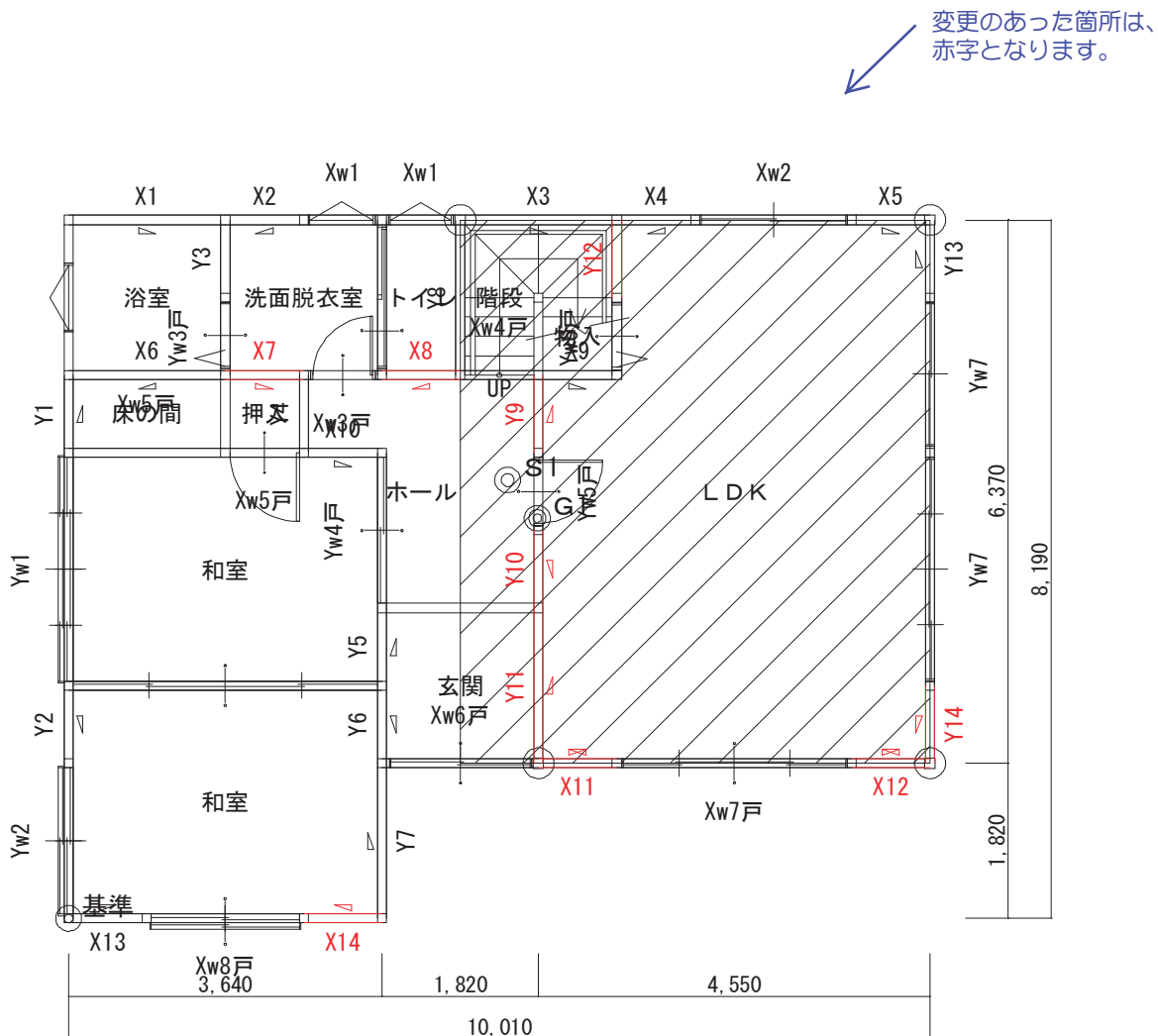
診断士登録番号 第〇〇〇〇〇号

担当診断士名 〇〇〇〇 〇〇

ARCHITREND リフォームエディション 耐震診断 Version 2.0.0  
[P評価11-W]

注記)2016年評価更新により、評価番号は[P評価11-改1-W]となります。

1階 柱壁配置図



※斜線部分は上階位置を表す  
 G 重心 S 剛心  
 Xw・Yw 開口壁

柱・壁の耐力（無開口壁）Qw

基礎形式：Ⅱ：ひび割れのある鉄筋コンクリート基礎、無筋コンクリート基礎

1階X方向 [在来軸組構法]

方向	No	仕 様	壁基準 耐力Fw (kN/m)	計 (kN/m)	接合部 耐力 低減Kj	壁長 (m)	Qwi (kN)	Qw= ΣQwi (kN)
X	1	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.71	1.82	6.20
		筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60					
		石膏ボード張り(厚9以上)	1.10					
	2	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.71	0.91	3.10
		筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60					
		石膏ボード張り(厚9以上)	1.10					
	3	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.91	1.82	7.95
		筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60					
		石膏ボード張り(厚9以上)	1.10					
	4	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.91	0.91	3.97
		筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60					
		石膏ボード張り(厚9以上)	1.10					
	5	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.91	0.91	3.97
		筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60					
石膏ボード張り(厚9以上)		1.10						
6	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.71	1.82	6.20	
	筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60						
	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10						
変 更 7	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.71	0.91	3.10	
	筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60						
	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10						
変 更 8	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.71	0.91	3.10	
	筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60						
	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10						
9	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.91	0.91	3.97	
	筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60						
	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10						
10	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.71	0.91	3.10	
	筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60						
	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10						
変 更 11	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	10.00	×	0.85	0.91	7.74	
	筋かい木材45x90以上 BP-2または同等品 ダブル	6.40						
	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20						
変 更 12	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	10.00	×	0.85	0.91	7.74	
	筋かい木材45x90以上 BP-2または同等品 ダブル	6.40						
	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20						
13	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	×	0.71	0.91	3.10	
	筋かい木材45x90以上 釘打ち シングル	2.60						
	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10						
変 更 14	石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	9.50	×	0.70	0.91	6.05	
	筋かい木材45x90以上 BP-2または同等品 シングル	3.20						
	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20						
合計							69.29	

基礎形式：Ⅱ：ひび割れのある鉄筋コンクリート基礎、無筋コンクリート基礎

1階Y方向 [在来軸組構法]

方向	No	仕 様	壁基準 耐力Fw (kN/m)	計 (kN/m)	接合部 耐力 低減Kj	壁長 (m)	Qwi (kN)	Qw= ΣQwi (kN)
----	----	-----	-----------------------	-------------	-------------------	-----------	-------------	---------------------

## 劣化度による低減係数 dK

(築10年以上)

部位	材料、部材等	劣化事象	存在点数	劣化点数	
屋根葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	2	
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある			
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	-	
	縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	-	
外壁仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	-	
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある			
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	-	-	
バルコニー	手すり壁	木製板、合板	1	-	
		窯業系サイディング			こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある
		金属サイディング			変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある
		外壁との接合部			外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある
床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	1	-	
内壁	一般室	内壁、窓下	2	-	
	浴室	タイル壁	2	-	
		タイル以外			水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある
床	床面	一般室	2	-	
		廊下	1	-	
	床下	基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	-	
合計			22	2	

$$1 - (\text{劣化点数} / \text{存在点数}) = 1 - (2/22) = 0.91 \rightarrow 0.91$$

※耐震補強のため、劣化度上限は現況劣化度0.92となります。

劣化度による低減係数  
補強計画での上限は、0.90とします。  
ただし、現況の低減係数が0.90を超える場合は、  
その値が上限値となります。